

# REACH 規則の概要と最新動向

日時 2023年11月17日(金) 13:00~16:00

場所 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(本部)  
東京都江東区青海 2-4-10

- ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前
- りんかい線「東京テレポート」駅下車 徒歩15分 [朝夕無料送迎バスあり]  
都営バス海01 テレコムセンター駅前下車

受講料 3,000円

広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)は、自社製品の輸出に係る海外法規制のご相談に対し、さまざまな技術支援を行っています。

欧州 REACH 規則は、登録、評価、認可、制限に関する化学物質規制です。一定量の物質に対する登録、成形品の情報伝達義務や SCIP(スキップ)登録など、初めて REACH 規制に取り組む方にとっては難易度が高く感じられるかもしれません。

本セミナーでは、海外法規制に関連した品質管理に携わる方や REACH 規則を概要から学びたい方などを対象に、REACH 規則の概要や RoHS 指令との違いおよび注意点、REACH 規則の注目すべき動向などを解説します。また、REACH 規則における PFAS<sup>※1</sup> 制限提案や PFHxS<sup>※2</sup> の POPs 規則による規制など、近年注目されている規制動向についても解説します。

※1 有機フッ素化合物の総称で、対象は数千から数万と広範囲とされる

※2 ペルフルオロヘキサンスルホン酸(PFASの1種)



マスコットキャラクター テリン®

定員

50名

詳細は裏面またはこちら



## 講座内容・スケジュール

時間	科目	講師
13:00～16:00	<p>【講義】 REACH規則の概要と最新動向 RoHS指令との違いと注意点、第29次候補物質の用途、30次候補、成形品の情報伝達義務・REACH規則の枠組みの改正・REACH規則の注目すべき動向・ECHAの次の調査プロジェクトおよび制限物質の動向・広範なPFAS制限提案・PFAS規制に対する企業の事例・EU POPs規則の動向</p> <p>【質疑応答】 質問内容が有償調査の範疇の場合、公知の事実であってもご回答できない場合があります。</p>	<p>SGSジャパン株式会社 技術顧問 大内幸弘</p> <p>月間化学物質管理にて規制関連記事の執筆や化学物質管理に関する様々なセミナー活動を実施</p>

## 開催要項

- 〈応募資格〉 原則として、日本の法人の従業員、個人事業主または創業を予定している個人
- 〈申込締切〉 2023年11月7日（火） ※定員を超えた場合は期日前に締め切ることがあります。
- 〈申込方法〉 都産技研ウェブサイト (<https://www.iri-tokyo.jp/seminar/231117.html>) の Web 申込フォームからお申し込みください。

## ●申込時には、

「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター技術支援事業ご利用約款  
第1章 総論および第5章 技術セミナー・講習会」  
(<https://www.iri-tokyo.jp/uploaded/attachment/15778.pdf>) の  
条文についてご承諾の上お申込みをお願いします。



- 〈受講可否〉 受講予定者には受講料払込書を郵送します。  
定員などの関係で受講をお断りする場合は、電話・電子メールなどにてご連絡します。
- 〈問合せ先〉 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 技術振興室 技術セミナー係  
〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10 TEL:03-5530-2308 FAX:03-5530-2318  
メール宛先: [kenshu@iri-tokyo.jp](mailto:kenshu@iri-tokyo.jp)

